

2004 年は世界中で災害の多い年でした。今年こそは世界中が平和で穏やかな一年となることを願わずにはられません。当事者にとって事件や事故の記憶は簡単に消えるものではありませんが、時間とともに悲しみは薄らぎ、教訓は風化されないことを希望します。

専門誌を読む際にはいくつかの楽しみがあります。自分が必要とする質の高い論文を熟読することはもちろんですが、ばらばらとめくっているうちになるほどと思う記事を見つけたときにはゆたかな気持ちになります。データベースの検索機能が発達した現在でも、雑誌をなんとなくみているうちに様々な情報が得られるのはアナログの醍醐味といえましょう。

卒業まもないころにいくつかの文献を集めて複写しているときに、面白い編集後記が書かれている雑誌を見つけました。それ以来、時間があるとその雑誌の編集後記や閑話を見ることを密かな楽しみにしていました。その後、しばらくはそのような心を亡くして（忙しいとは“心”を亡くした状態だそうです）いました。いや、そのことさえ気付かずにいたといったほうが正確かもしれません。最近、偶然にその雑誌をみる機会があり、編集後記には「目次をみればわかるようなことは書かない」、「特定の記事だけを評することはあまり適切でない」というようなことが書かれていました。本ジャーナルの編集委員となつて 10 年が経ち、改めてこの欄を書くことの思いをはせています。

大学教員をしていると、年末、年始はなにかと慌ただしい日が続きます。卒業研究の締め切り、学位論文の指導と審査、入学試験、臨床実習などで、これらは卒業（学位伝達）式で一つの区切りを迎えることになります。それぞれの学生にとって人生の大きな転機となる行事で、喜怒哀楽や人間模様がくっきりと表れる季節でもあります。もちろん、臨床・実践に従事されている多くの理学療法士は、毎日個々の対象者の転機と向かい合つて歩まれていることでしょう。教育現場にいる理学療法士にとっては、学生が対象者であり、個々の学生と向かい合う講義・実習とともに、教育課程（カリキュラム）を編成することが重要な役割となります。社会のニーズに沿った理学療法士観を涵養する環境作りこそが、現在の理学療法モデルである課題志向型アプローチにおける適応をうながす認知的環境の理解と支援の教育版といえましょう。

実践能力の向上には、技術そのものの伝達と向上が基盤にあることは言うまでもありません。これまで 40 年の間に培われた技能や職人芸をデータベースに埋もれさせることなく次の世代に発展的に伝承していくことも重要な使命となります。今後は、このような専門誌においても成書にはないコツやアーツをさらに積極的に取り上げていく必要があるでしょう。その際、動画やホームページ上へのアクセスなど日進月歩の通信技術を取り入れる時期にきているのかもしれません。

（内山 靖）

理学療法ジャーナル

（第 39 巻 第 2 号）

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2005 年 2 月 15 日発行（毎月 1 回 15 日発行）

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

定価 1,785 円（本体 1,700 円 + 税 5%）

（担当：平岡・山崎）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

広告室直通 (03) 3817-5696

〔2005 年年ぎめ予約購読料 20,880 円〕
（配送料弊社負担）

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 (株) ☎ (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 医薬広告社 ☎ (03) 3814-1971

E-mail : ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2005, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は (株) 医学書院が保有しています。

・ JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム（電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199）の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
五 味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

（五十音順、以下同じ）

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
木 山 喬 博
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇